

11月18日は「いい家の日」

【調査】関東と関西では住宅選びは異なる？

家選びで最も重要なのは、関東「周辺環境」、関西「価格」！

関東は「学区」、関西は「築年数」と妥協点にも差異

不動産関連の比較査定サイト「リビンマッチ」を運営するリビン・テクノロジーズ株式会社は、11月18日の「いい家の日」（株式会社アサツーディ・ケイの「ADK 不動産プロジェクト」制定）に合わせて、「リビンマッチ」を利用した、20歳以上の関東または関西に居住している男女129人を対象に「関東と関西では住宅選びは異なるのか」について調査しました。

【調査結果サマリー】

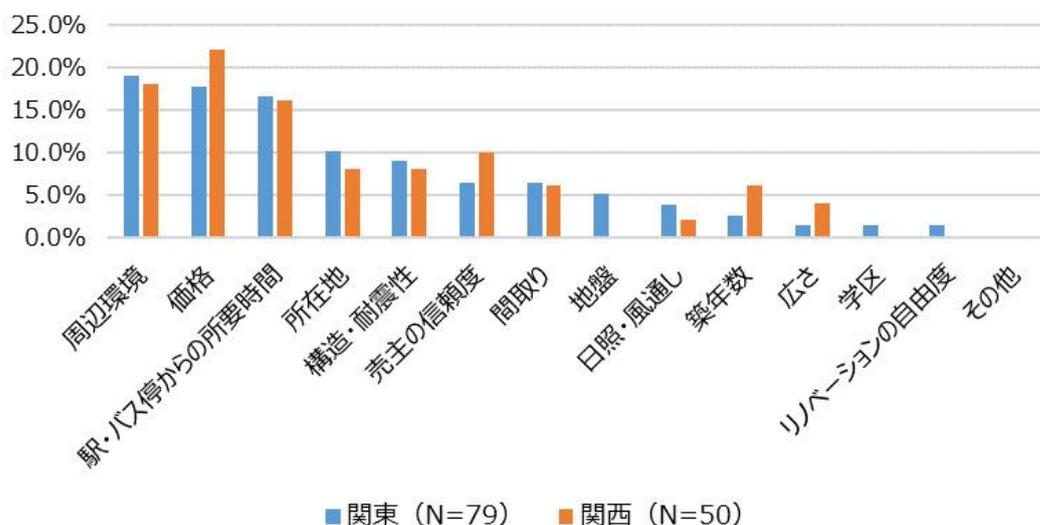
- ・ポイント1 住宅購入時の最重視点、関東は「周辺環境」19.0%、関西は「価格」22.0%！
- ・ポイント2 関東は「駅・バス停からの所要時間」、関西は「日照・風通し」も重視！
- ・ポイント3 住宅購入時の妥協点は関東と関西でバラつく傾向にあり。

「家選びの重視点トップ3、関東は『周辺環境』『価格』『構造・耐震性』。

一方、関西は『価格』『価格』『周辺環境』と『日照・風通し』

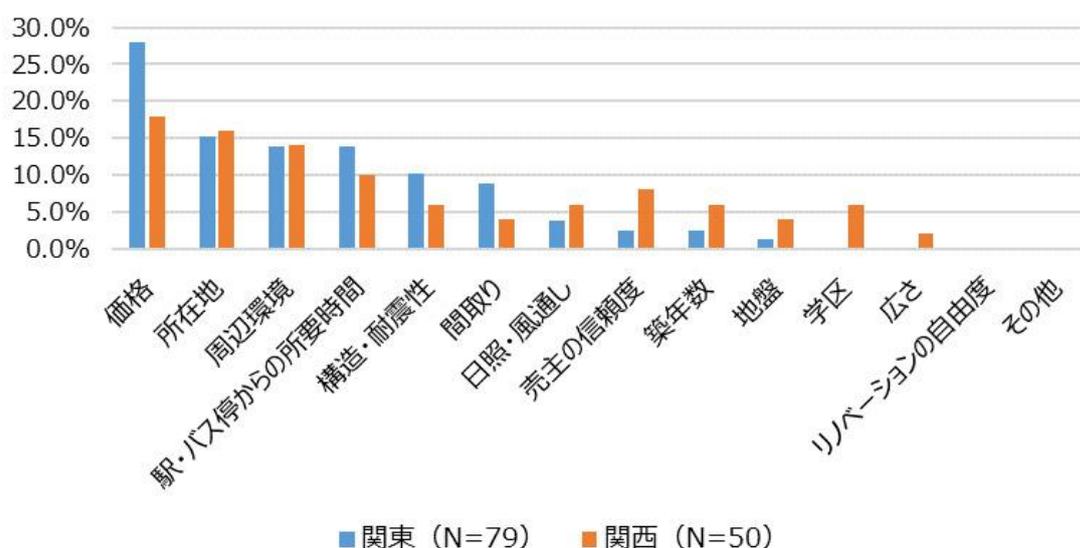
エスカレーターの立ち位置、食べ物、志向など関東と関西には色々と違いがあると言われています。そこで、住宅選びも違いがあるのか、関東と関西の居住者に「住宅購入時、最も重視する点」は何かたずねました。関東では『周辺環境』（19.0%）が最多で、『価格』（17.7%）、『駅・バス停からの所要時間』（16.5%）、『所在地』（10.1%）とつづきましたが、関西では『価格』（22.0%）が最多で、『周辺環境』（18.0%）、『駅・バス停からの所要時間』（16.0%）、『売主の信頼度』（10.0%）となりました。また、少数ですが関東では『地盤』（5.1%）、『学区』『リノベーションの自由度』（共に1.3%）を選んだ人がいる中、関西ではゼロでした。

住宅購入時、最も重視する点



つぎに「2番目に重視する点」をたずねました。それぞれ『価格』（関東：27.9%、関西：18.0%）が最多で、『所在地』（関東：15.2%、関西：16.0%）、『周辺環境』（関東：13.9%、関西14.0%）、『駅・バス停からの所要時間』（関東：13.9%、関西：10.0%）となりました。こちらでも少数ですが関西では『学区』（6.0%）や『広さ』（2.0%）を選んだ人がいる中、関東ではゼロでした。

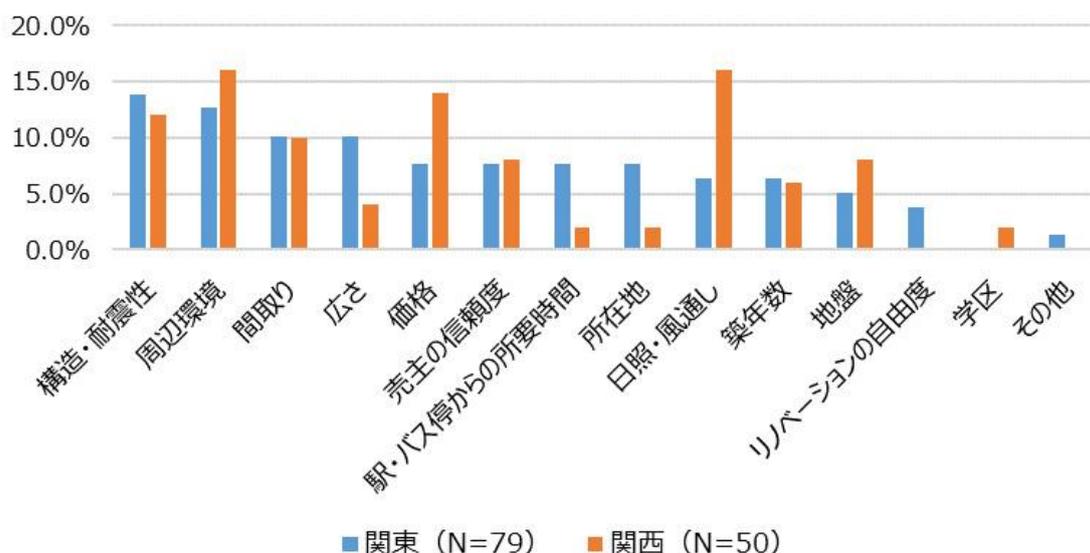
住宅購入時、2番目に重視する点



つづいて「3番目に重視する点」をたずねました。関東では『構造・耐震性』（13.9%）が最多で、『周辺環境』（12.7%）、『間取り』『広さ』（共に10.1%）とつづきましたが、関西では『周辺環境』『日照・風通し』（共に16.0%）が最多で、『価格』（14.0%）、『構造・耐

震性』(12.0%)、『間取り』(10.0%) となりました。『日照・風通し』は関東では 6.3%しかなく、『広さ』(関東：10.1%、関西：4.0%) や『駅・バス停からの所要時間』『所在地』(共に関東：7.6%、関西：2.0%) も関東と関西で大きな違いが見られました。

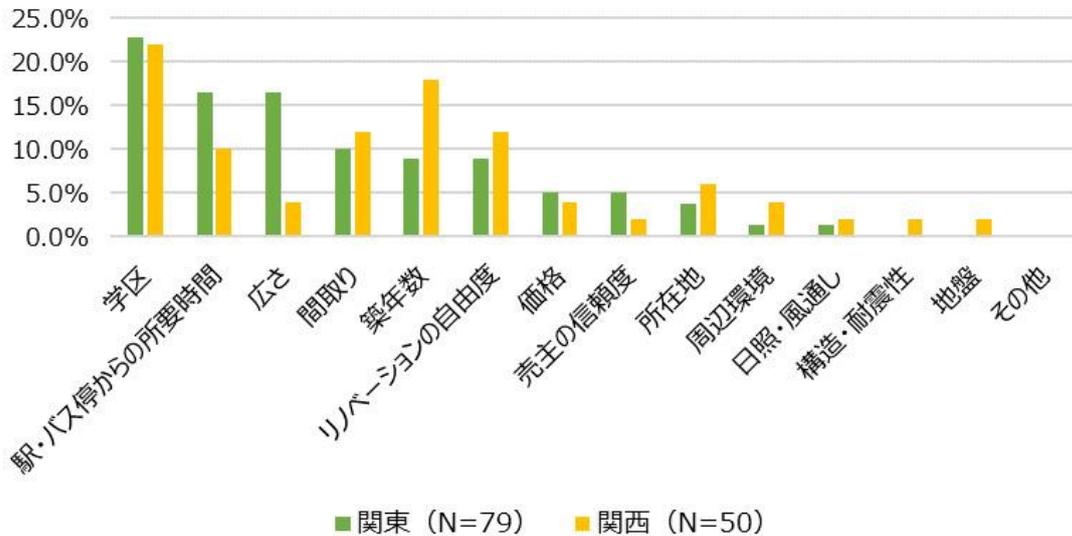
住宅購入時、3番目に重視する点



「家選びで最も妥協できるのは、関東は『学区』、関西は『築年数』！」

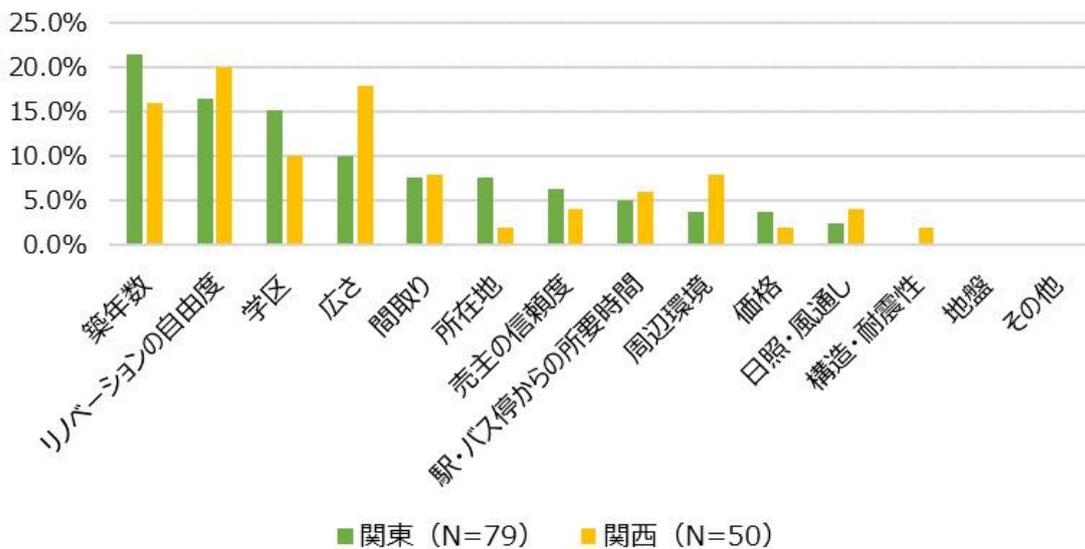
今回は「最も妥協してよい点」は何かたずねました。関東では『学区』(22.8%) が最多で、『駅・バス停からの所要時間』『広さ』(共に 16.5%)、『間取り』(10.1%) とつづきました。関西でも『学区』(22.0%) が最多だったものの、『築年数』(18.0%)、『間取り』『リノベーションの自由度』(共に 12.0%)、『駅・バス停からの所要時間』(10.0%) となり、『広さ』は 4.0%しかいませんでした。また、少数ですが関西では『構造・耐震性』『地盤』(共に 2.0%) を選んだ人がいる中、関東はゼロでした。

住宅購入時、最も妥協してよい点



つぎに「2番目に妥協してよい点」をたずねました。関東では『築年数』(21.5%)が最多で、『リノベーションの自由度』(16.5%)、『学区』(15.2%)、『広さ』(10.0%)とつづきましたが、関西では『リノベーションの自由度』(20.0%)が最多で、『広さ』(18.0%)、『築年数』(16.0%)、『学区』(10.0%)となりました。関東で7.6%いた『所在地』は、関西では2.0%と少なく、少数ですが関西では『構造・耐震性』(2.0%)を選んだ人がいる中、関東ではゼロでした。

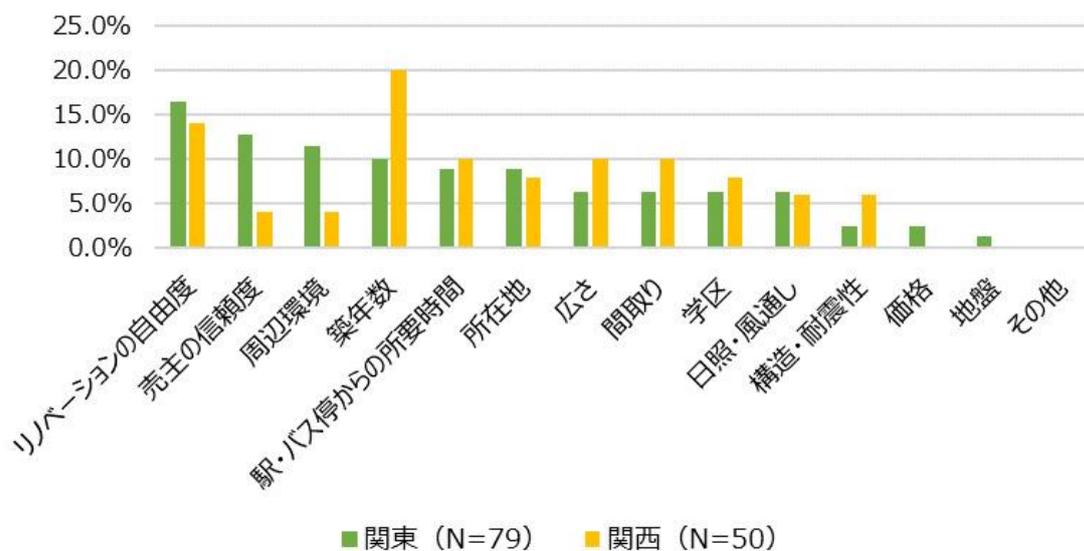
住宅購入時、2番目に妥協してよい点



最後に「3番目に妥協してよい点」をたずねました。関東では『リノベーションの自由度』(16.5%)が最多で、『売主の信頼度』(12.7%)、『周辺環境』(11.4%)、『築年数』(10.1%)

とつづきましたが、関西では『築年数』（20.0%）が最多で、『リノベーションの自由度』（14.0%）、『駅・バス停からの所要時間』『広さ』『間取り』（共に 10.0%）となりました。関東では上位に挙げた『売主の信頼度』『周辺環境』は関西では共に 4.0%と少なく、少数ですが関東では『価格』（2.5%）、『地盤』（1.3%）を選んだ人がある中、関西はゼロでした。

住宅購入時、3番目に妥協してよい点



◇まとめ◇

関東の方が利便性を、関西の方が住み心地を重視する傾向があることがわかりました。

<調査概要>

- 調査期間：2019年10月15日～10月31日
- 調査手法：インターネット調査（任意でアンケートに回答）
- 集計数：「リビンマッチ」を利用した20歳以上の関東または関西に居住している男女129人

（内訳：関東 79人、関西 50人）

以上